

# 『出会えてよかったと思える教員になりたい』

東京都教員採用試験合格

小池真悠子さん（東京都私立東亜学園高等学校 出身）

## ①本学科の志望理由

保健体育科の教員免許を取得することを第一に考え体育学科を志望しました。また、文理学部では教員養成に力をいれていることを知り、教員を目指す自分に最適であると思い、入学を決めました。

さらに、文理学部では一般教養科目として所属学科以外の授業を履修できることも志望理由の1つでした。入学後、高校から興味があった生物学など関心のある学問も学ぶことができ、充実した授業を受けることができました。

## ②教員を志望した理由

中学生の頃から人に何かを教えることが好きで好きなことを生かせる教員に関心がありました。しかし、怪我の処置など臨機応変な対応が必要となる保健体育科の教員は向かないと感じていました。

そんな私の転機は高校生でした。保健体育科の教員の言葉で考えが変わったのです。「教員は子供たちが安全に体育を学べるように教えなければならない」。この言葉をきいて、“安全に教える”ことが役割のひとつであると理解しました。だからこそ、保健体育科の教員として第一に安全を考え、授業を実施したいと思っています。



## ③教員になるために取り組んだこと

教員免許取得のためには、特別支援学校や社会福祉施設で介護等体験を実施しなければなりません。この制度が私にとって新しい経験へ踏み出すきっかけとなりました。私は大学3年生で訪れた社会福祉施設でボランティアを始めました。施設では、言葉を声に出せない方も多く、普段の行動から何をしたいかなど、察して行動することが求められます。また、毎日予想外のハプニングがおこり、臨機応変に対応しなければなりません。最初は察することもできず、判断に迷うこともありました。しかし、共に過ごすことで各々の習慣や雰囲気気づき、適した行動を促すことができるようになりました。

今後、教員として日常生活から生徒の考えを察し、予想外のハプニングにも臨機応変な対応を瞬時に選択することができると自信になりました。

#### ④教員採用試験の対策

文理学部には教職課程の学生をサポートする教職支援センターがあります。管理職を経験された先生がいらっしやり、面接等の講座を開講しています。私は、講座に参加するだけでなく、小さな疑問でもすぐに解決するよう頻繁に通っていました。

また、文理学部内のキャンパスで東京アカデミーの講座を開講しています。教職を目指すのであれば、必ずこの講座に通うべきです。

実技に関しては、練習環境が整っているため、学部内の施設を活用し先生方に直接アドバイスをいただきました。教員志望の友人と取り組むことでやる気を高め、練習に励むことができました。



#### ⑤理想の教員像

生徒だけではなく、保護者、同僚の教員から信頼を得る人間性をもつ教員になりたいです。そのためには、授業や日常生活など、どんなときでも真正面から生徒と接したいです。また、生徒の人生において、教員は大きな存在となります。生徒にとって、出会えてよかったと思われるような教員を目指します。

#### ⑥後輩に向けて

試行錯誤を繰り返し、行動に移す。教員を目指しているのであれば行動してください。何事にも一生懸命になれるのは今だけです。だからこそ、この大学生活で遊びも勉強も、やりたいこと全てに一生懸命に取り組んでください。嫌なことがあっても逃げ出さないことが大切です。様々な経験が教員生活に活かされていくでしょう。

ぜひ、大学生活で何事にも一生懸命に取り組んでいってください。